

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後クラブ ルンバルンバ原町		
○保護者評価実施期間	2026年2月21日		2026年3月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数)
○従業者評価実施期間	2026年3月12日		2026年3月17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月17日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	数少ない総合療育を実施している。	職員の打ち合わせを行い、療育スキルを学ぶ機会を作っている。	各担当者が療育手法についてアイデアを出して実践する。運動担当、課題担当、その他担当にてそれぞれに案を出してやってみること。
2	小学生は基礎療育、中学生は就労へ向けて体験見学会を実施	通所開始時から就労を目掛けて取り組んでいる。積み重ねてきてことは各児童それぞれにあり、就労体験を実施することで何がこれから必要なかがわかる。また保護者も見学に参加できるため我が子の今後を見通すことができる。	清掃・食などの業種への体験も今後は開拓を行うことが望まれる。また、既存の就労B事業所も定期的に体験見学継続へ。
3	また、ルンバで育ったお兄さんお姉さんが優しくフォローしてくれる。	学んだことを下級生と一緒にやってみさせる。児童館や学校でのリーダーとしてできることの経験をさせている。	児童館通所児童から交流なども今後は検討へ。夏祭りや共同創作など企画をしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	コロナ以降、保護者会の実施については、時期を見ている。	中高生の就労体験見学時に保護者同士が接点をもつ機会としている。小学生については、現在のところ面談などを通じて確認している。	保護者参加イベントなどを企画検討。ポウリングや納豆工場、楽天など。土日に営業していないため平日の時間にて検討へ
2	児童館等との交流機会がない	双方の受け入れに関して慎重に考えている。	児童館を利用することも事業所に迎え入れ、活動などと一緒に参加するなどして少しずつ体制を作っていくことが必要だと考える
3	協議会への出席	今年度は出席を行っているが、午前中の時間にて実施されていることが必要になる。	職員の休憩時間なども考えて参加していく